

令和6年度版

よくわかる公共事業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

多野藤岡地域



トンネル

どんな効果があるの？



はし

事業の進み具合は？

何のために事業しているの？



どうろ
道路

どんな事業？



多野藤岡地域

多野藤岡地域は県の南西部に位置し、藤岡市と多野郡上野村・神流町の1市1町1村で構成されています。総面積は県全体の約7.5%で、東西に約47km、南北に12kmと東西方向に細長い地形となっており、そのうち4分の1が平坦部、4分の3が山間部です。また、人口は県全体の約3.5%を占めていますが、藤岡市の平坦部に人口が集中しています。



地域の優れた特性

- 地域内の北東に位置する藤岡市の中心部は、本県の玄関口としての拠点性を活かした産業集積が進んでいます。
- 藤岡市の山間部や奥多野地域では、神流川・御荷鉾山などに代表される豊富な自然や森林資源、伝統文化等に恵まれた地域特性を活かした観光や地域活性化のための取組が進められています。

地域の現状と課題

- 山間地を多く抱えていることから、土砂災害対策が必要な箇所が多く残されており、土砂災害から人命と財産を守るための取組が必要です。
- 奥多野地域を中心に、緊急輸送道路※における落石対策が必要な箇所が多く残されており、豪雨や地震等による道路の通行制限や孤立の発生を防ぐための取組が必要です。
- 隣接県を含む地域の交流促進や地域活性化に資する、都市間や地域間交流を促進するための取組が求められています。
- 高速道路網へのアクセスが悪い地域が多く、物流の効率化や地域間連携を強化するための取組が求められています。



県民の声

- 自然災害の備えに対し重要と考える住民は多いが、満足度は低い。
- 災害時には、県や市町村の連絡調整を密にし、迅速な復旧活動に重点的に取り組む必要がある。
- 幹線道路を整備しても、生活に密着した道路網の利便性が向上しないと、そのメリットが生きてこない。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 土砂災害リスクを軽減するため、天神沢の土石流対策や山崎町1地区のがけ崩れ対策、駒留地区の地すべり対策等を推進します。
- ② 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道462号の落石対策や県道藤岡本庄線の電線共同溝の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手手段の確保

- ① 物流の効率化や地域間連携を強化するため、県道前橋長瀬線（神田工区）のバイパス整備等を推進します。
- ② 都市間や地域間交流を促進するため、県道寺尾藤岡線のバイパス整備等を推進します。
- ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道藤岡大胡線の歩道整備等を推進します。

～掲載事業一覧～

多野藤岡地域

番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
1	土石流対策	藤岡市上日野	天神沢	1
2		藤岡市下日野	森沢	2
3	がけ崩れ対策	藤岡市坂原	大栃1-2地区	3
4		藤岡市藤岡	山崎町1地区	4
5		藤岡市坂原	大栃1-1地区	5
6	地すべり対策	藤岡市下日野	駒留地区	6
7	がけ崩れ対策	上野村新羽	向屋2地区	7
8	落石対策	上野村勝山・乙母	国道299号	8
9		神流町柏木	国道462号(柏木工区)	9
10		神流町生利	国道462号(生利工区)	10
11		藤岡市坂原・保美濃山	国道462号(藤岡工区)	11
12		神流町魚尾	国道462号(魚尾工区)	12
13	電線共同溝	藤岡市藤岡	県道藤岡本庄線(藤岡工区)	13
14	現道拡幅(代行)	神流町森戸	町道麻生小平線	14
15	バイパス整備	藤岡市矢場～神田	県道前橋長瀬線(神田工区)	15
16	現道拡幅	藤岡市下栗須～中栗須	県道下栗須馬庭停車場線(下栗須工区)	16
17	バイパス整備	神流町神ヶ原	国道299号(古鉄橋上流工区)	17
18		高崎市根小屋町～藤岡市篠塚	県道寺尾藤岡線(山名工区)	18
19	現道拡幅	上野村檜原	県道下仁田上野線(上野工区)	19
20	バイパス整備	藤岡市下日野	県道上日野藤岡線(黒石工区)	20
21	歩道整備	藤岡市神田	県道下日野神田線(神田工区)	21
22		藤岡市本郷	県道藤岡大胡線(本郷工区)	22
23		藤岡市上日野	県道上日野藤岡線(上日野工区)	23
24		藤岡市浄法寺	県道前橋長瀬線(浄法寺工区)	24

多野藤岡地域

番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ 番号
25	がけ崩れ対策	上野村乙母	乙母地区	25
26		上野村新羽	野栗4地区	26
27		上野村勝山	勝山1地区	27
28		上野村檜原	塩之沢9地区	28
29		上野村檜原	三岐(C)地区	29
30	土石流対策	神流町万場	寺沢川	30
31		上野村乙父	森戸沢	31
32	歩道整備	藤岡市神田	県道前橋長瀬線(中神田工区)	32

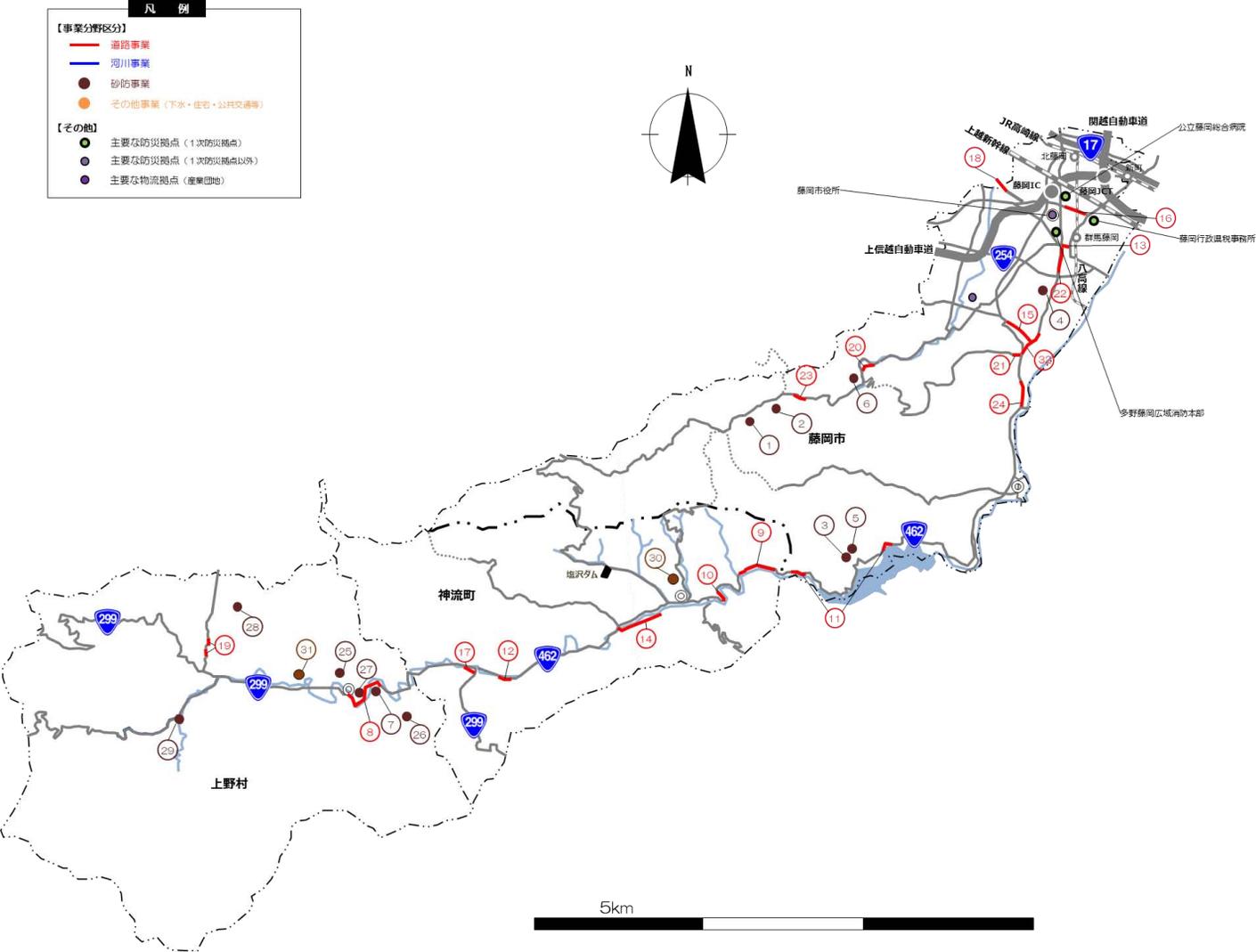
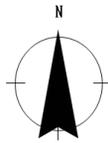
凡 例

【事業分野区分】

- 道路事業
- 河川事業
- 砂防事業
- その他事業（下水・住宅・公共交通等）

【その他】

- 主要な防災拠点（1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産集卸地）





どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくりました

地元の声

・大雨のとき、土砂が流れ出てくる可能性があるので、とても不安だ。（地元住民）

事業前

◆溪流が荒廃しており、大雨などにより土石流や流木が発生するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

◆砂防堰堤等の整備により、大雨などによる土石流や流木の被害のリスクを軽減しました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：藤岡市上日野
- 事業内容：砂防堰堤 1基、溪流保全工
- 事業期間：平成28年度～令和2年度



事業位置
藤岡市

事業の進捗状況（令和2年度完了）



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和2年度に砂防堰堤が完成し、事業完了となりました。





どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくりました

地元の声

・大雨のとき、土砂が流れ出てくる可能性があるので、とても不安だ。（地元住民）

事業前

◆溪流が荒廃しており、大雨などにより土石流や流木が発生するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

◆砂防堰堤等の整備により、大雨などによる土石流や流木の被害のリスクを軽減しました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：藤岡市下日野
- 事業内容：砂防堰堤 2基、溪流保全工
- 事業期間：平成24年度～令和2年度

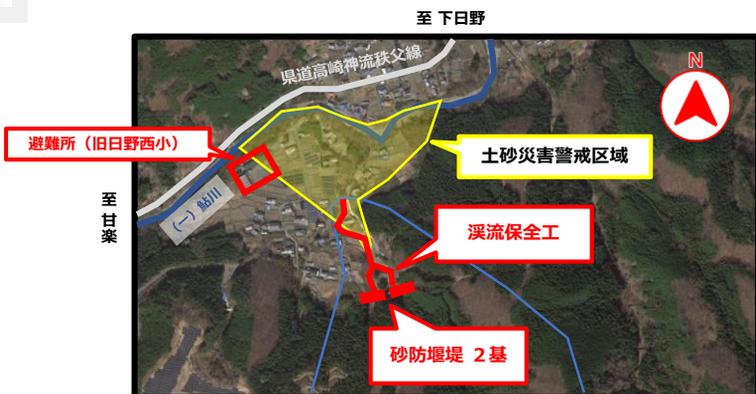


事業位置
藤岡市

事業の進捗状況（令和2年度完了）

今、何をしているか

令和2年度に砂防堰堤等が完成し、事業完了となりました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵と法枠をつくりました

地元の声

・がけ崩れによる被害が不安なため、対策をしてほしい。（地元住民）

事業前

◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

◆防護柵と法枠をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減しました。



事業後の状況

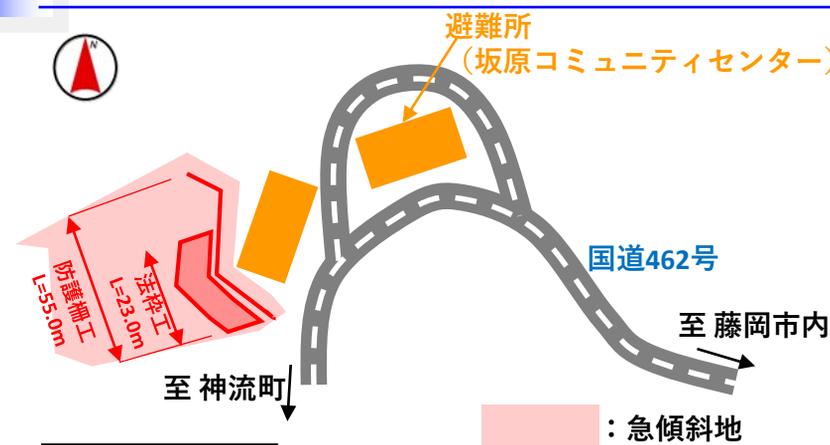
事業の概要

- 事業箇所：藤岡市坂原
- 事業内容：防護柵工 延長55m・法枠工
- 事業期間：令和元年度～令和5年度

※法枠（のりわく）とは、コンクリートなどで格子状の枠を設けて、斜面の風化、浸食、崩落などを防止するものです。



事業の進捗状況（令和5年度完了）



今、何をしているか

令和5年度に、本事業は完了となりました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

法枠を
つくりました

地元の声

・がけ崩れによる被害が不安なため、対策をしてほしい。（地元住民）

事業前

◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがありました。



保全対象
要配慮者利用施設

事業前の状況



事業後

◆法枠の整備により、斜面の風化を防ぎ、がけ崩れによる被害のリスクを軽減しました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：藤岡市藤岡
- 事業内容：法枠工
- 事業期間：令和元年度～令和4年度

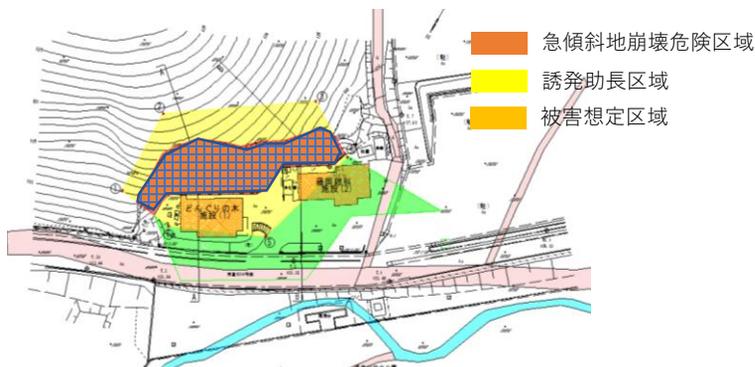
※法枠（のりわく）とは、コンクリートなどで格子状の枠を設けて、斜面の風化、浸食、崩落などを防止するものです。



事業の進捗状況（令和4年度完了）

今、何をしているか

令和4年度に法枠工事を実施し、事業完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵と法枠をつくります

地元の声

・がけ崩れによる被害が不安なため、対策をしてほしい。（地元住民）

事業前

◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆防護柵をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

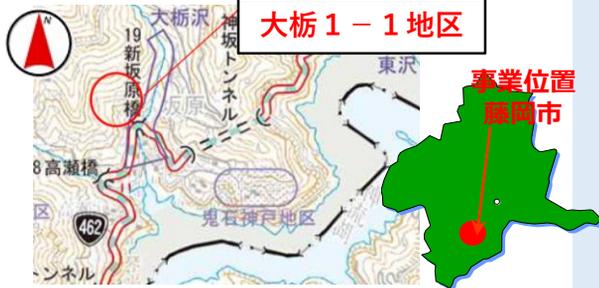


事業後のイメージ（一例）

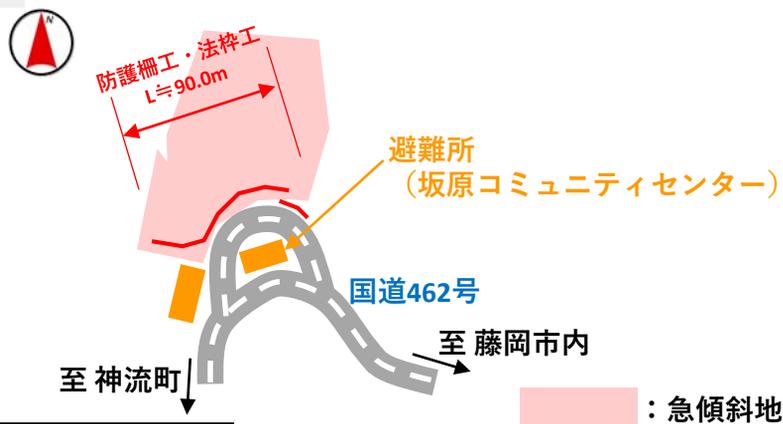
事業の概要

- 事業箇所：藤岡市坂原
- 事業内容：防護柵工 延長90m・法枠工
- 事業期間：令和元年度～

※法枠（のりわく）とは、コンクリートなどで格子状の枠を設けて、斜面の風化、浸食、崩落などを防止するものです。



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度は、着手可能な範囲から防護柵工及び法枠工を実施します。





どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵を つくります

地元の声

・ 人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。(地元住民)

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

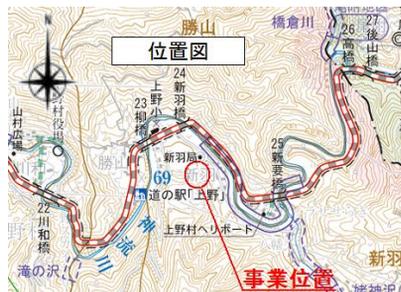
◆ がけ崩れの対策施設をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ(一例)

事業の概要

- 事業箇所：上野村新羽
- 事業内容：防護柵工 延長166.5m
- 事業期間：令和元年度～



事業の進捗状況(令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は工事を実施し、対策を推進します。



事業のすすみ具合

急傾斜地

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

斜面を
補強しました

地元の声

- ・斜面が近く、木で斜面の状態が見えないため、不安がある。(道路利用者)
- ・悪天候時に落石が発生しやすいため、安心して通行できる道路にしてほしい。(道路利用者)

事業前

◆斜面に落石のおそれがある転石や浮石があり、大雨等の際に落石や土砂崩壊により道路が寸断するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

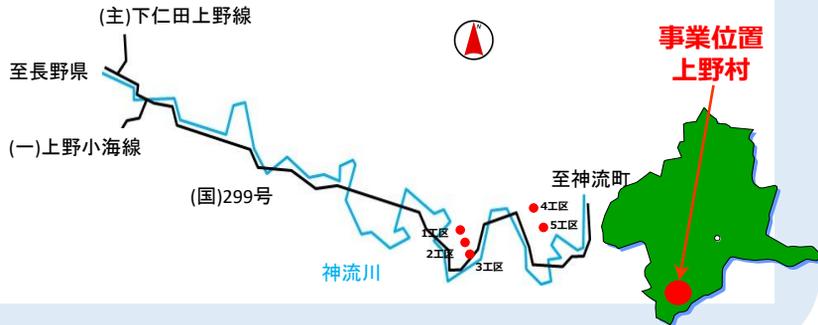
◆ネットを張り道路への落石を防ぐことで、落石等による緊急輸送道路の寸断リスクを軽減しました。



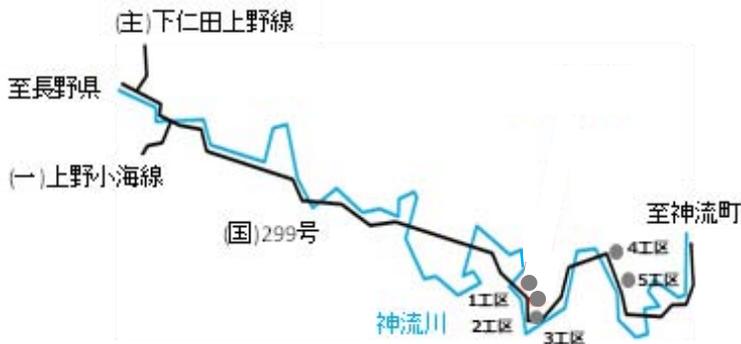
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：上野村勝山・乙母
- 事業内容：落石対策 5箇所
- 事業期間：平成22年度～令和4年度



事業の進捗状況 (令和4年度完了)



今、何をしているか

令和4年度に落石対策が完了し、災害時における自動車等の安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

斜面を
補強しました

地元の声

- ・悪天候時に落石が発生しやすいため、安心して通行できる道路にしてほしい。(道路利用者)
- ・斜面が近く、木で斜面の状態が見えないため、不安がある。(道路利用者)

事業前

- ◆斜面の浸食が進み、大雨等の際に落石や土砂崩壊により道路が寸断するおそれがありました。



事業前の状況



事業後

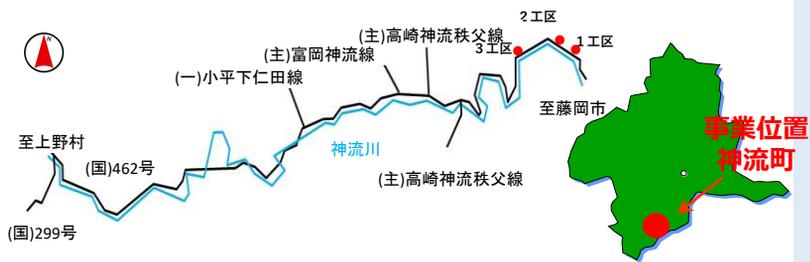
- ◆ネットを張り道路への落石を防ぐことで、緊急輸送道路の寸断リスクを軽減しました。



事業後の状況

事業の概要

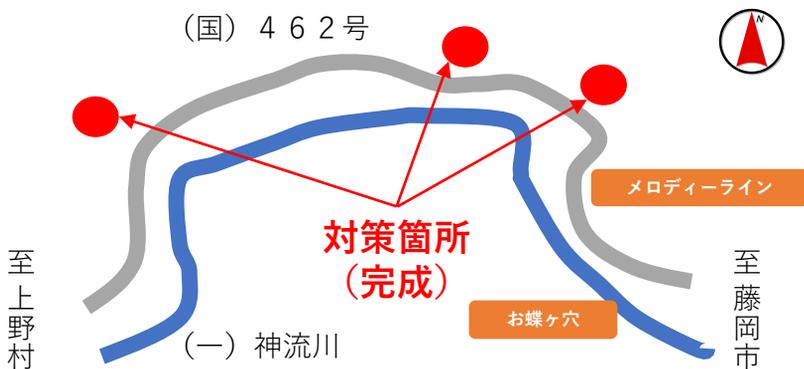
- 事業箇所：神流町柏木
- 事業内容：落石対策 3箇所
- 事業期間：平成29年度～令和4年度



事業の進捗状況 (令和4年度完了)

今、何をしているか

令和4年度に工事が完了し、災害時における自動車等の安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

斜面を
補強しました

地元の声

- ・悪天候時に落石が発生しやすいため、安心して通行できる道路にしてほしい。(道路利用者)
- ・斜面が近く、木で斜面の状態が見えないため、不安がある。(道路利用者)

事業前

◆斜面の浸食が進み、大雨等の際に落石や土砂崩壊により道路が寸断するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

◆ネットを張り道路への落石を防ぐことで、緊急輸送道路の寸断リスクを軽減しました。



事業後の状況

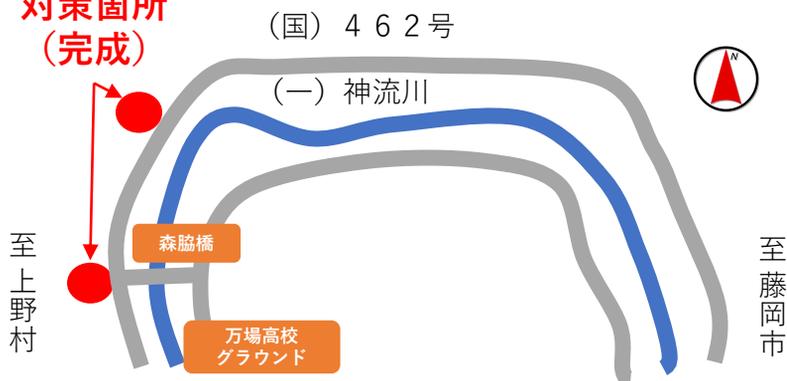
事業の概要

- 事業箇所：神流町生利
- 事業内容：落石対策 2箇所
- 事業期間：平成29年度～令和4年度



事業の進捗状況 (令和4年度完了)

対策箇所 (完成)



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和4年度に工事が完了し、災害時における自動車等の安全な通行が確保されました。





どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

斜面を
補強しました

地元の声

- ・雨風で落石が起きやすいので、安心して通行できる道路にしてほしい。(道路利用者)
- ・草木で斜面の状態が見えないので、不安だ。(道路利用者)

事業前

- ◆岩盤の風化により落石や土砂崩落が発生し、道路が寸断するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

- ◆不安定な斜面にコンクリート吹付工を行うことで、落石・土砂崩れ等を防ぎ、緊急輸送道路の寸断リスクを軽減しました。
- ◆斜面上の転石は、ネットを張り道路への落石を防ぎました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：藤岡市坂原・保美濃山
- 事業内容：落石対策 2箇所
- 事業期間：平成30年度～令和4年度



事業の進捗状況 (令和4年度完了)

今、何をしているか

令和4年度に落石対策が完了し、災害時における自動車等の安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

斜面を
補強しました

地元の声

- ・悪天候時に落石が発生しやすいため、安心して通行できる道路にしてほしい。(道路利用者)
- ・斜面が近く、木で斜面の状態が見えないため、不安がある。(道路利用者)

事業前

- ◆斜面の浸食が進み、大雨等の際に落石や土砂崩壊により道路が寸断するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

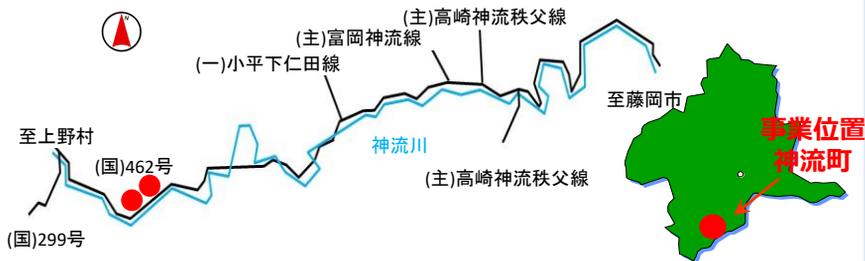
- ◆ネットを張り道路への落石を防ぐことで、緊急輸送道路の寸断リスクを軽減しました。



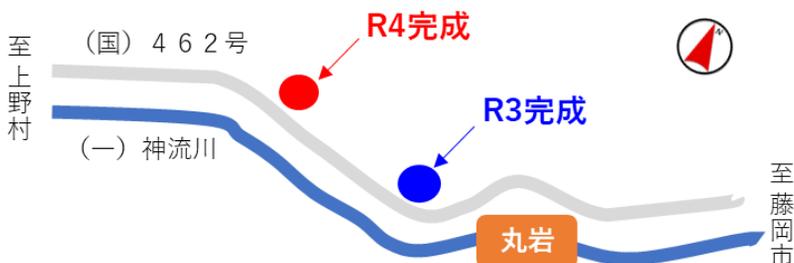
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：神流町魚尾
- 事業内容：落石対策 2箇所
- 事業期間：平成29年度
～令和4年度



事業の進捗状況 (令和4年度完了)



今、何をしているか

令和4年度に工事が完了し、災害時における自動車等の安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化し、 電柱を撤去しました

地元の声

- ・電柱がなくなれば、景観が良くなり商店街も活性化する。（商店街関係者）
- ・電柱がなくなること、安全に歩道を歩けます。（地元住民）

事業前

- ◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがありました。



事業前の状況

事業後

- ◆道路上の電柱がなくなり、災害時の安全な通行が確保されました。



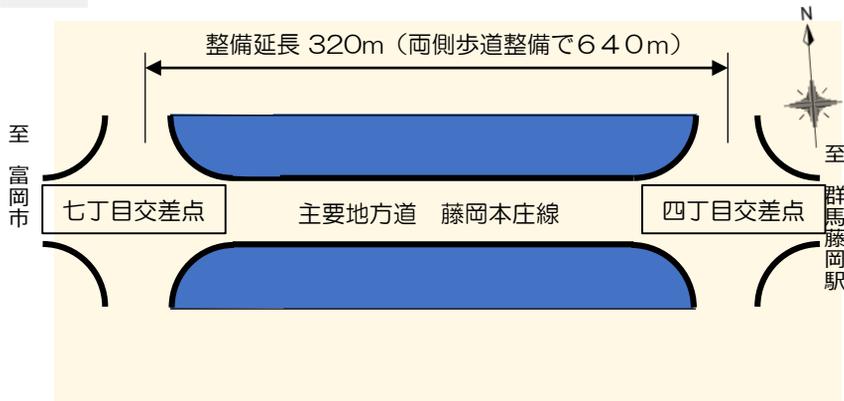
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：藤岡市藤岡
- 事業内容：歩道整備 延長 320m 歩道幅 3.75m
電線共同溝整備 延長 640m
- 事業期間：平成26年度～令和5年度



事業の進捗状況（令和5年度完了）



今、何をしているか

令和5年度は、舗装復旧工事と電線類の地中化を実施し、事業が完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

生活に密着した道路網の利便性を向上するため

道路を拡幅しました

地元の声

- ・道路の幅員が狭く、車両がすれ違うときに危険を感じる。(道路利用者)
- ・国道が災害で通行止めになってしまった時に迂回する道路がないと心配。(地元住民)

事業前

◆未舗装のうえ道幅も狭く、車両のすれ違いが困難なため、円滑な運行に支障がありました。



整備前の状況

事業後

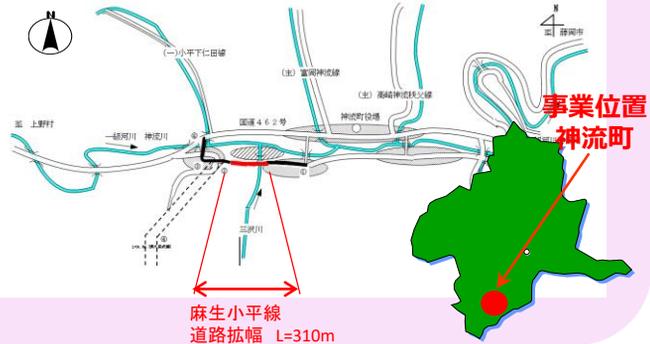
◆道幅を広げ、車両のすれ違いを容易にすることで、円滑な通行空間を確保しました。



整備後の状況

事業の概要

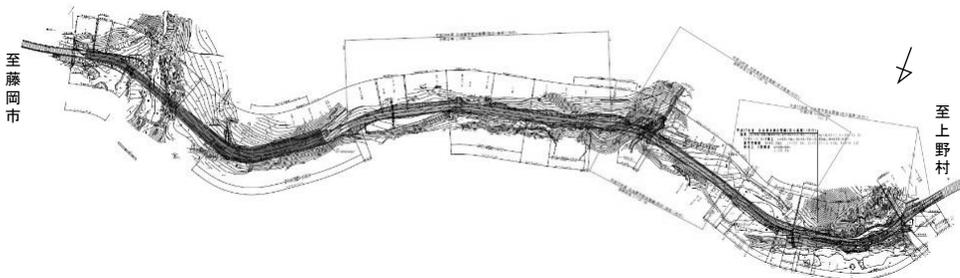
- 事業箇所：神流町森戸
- 事業内容：道路拡幅 延長 310m 道路幅 5.0m
- 事業期間：平成30年度～令和4年度



事業の進捗状況 (令和4年度完了)

今、何をしているか

令和4年度にて、全区間の工事が完了しました。これにより森戸地区から小平地区への利便性が向上しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

物流の効率化や地域間連携を強化するため

バイパス道路を整備します

地元の声

- ・渋滞して不便なので、早く整備して地域間の連携を強化してほしい。(地元住民)
- ・地域として長い間要望してきた道路なので早く整備してほしい。(地元住民)
- ・大型車が多い路線なので、バイパスができることで安心できます。(地元住民)

事業前

◆朝夕の通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しており、移動に時間がかかります。



事業前の状況

事業後

◆バイパス整備により、移動時間が短縮するとともに、周辺道路の渋滞が緩和されます。



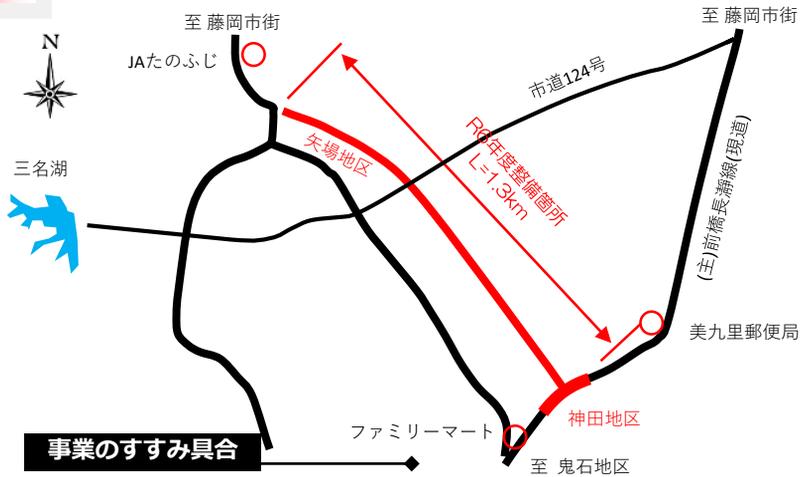
事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：藤岡市矢場～神田
- 事業内容：バイパス整備
延長 1.3km 道路幅 25.0m
- 事業期間：平成27年度～

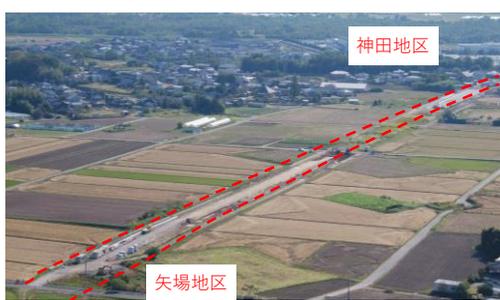


事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は、道路改良工事を行います。



県道下栗須馬庭停車場線（下栗須工区） 現道拡幅事業

事業完了

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

都市間や地域間交流を促進するため

道路を 拡幅しました

地元の声

- ・中学校に通学する生徒が利用しているが、歩道がないので危ない。（地元住民）
- ・駅東大通りと繋がったことにより、大型車の通行が増えて怖い。（地元住民）

事業前

◆道路の幅が狭く、大型車のすれ違いが困難なため、円滑な通行に支障がありました。



事業前の状況

事業後

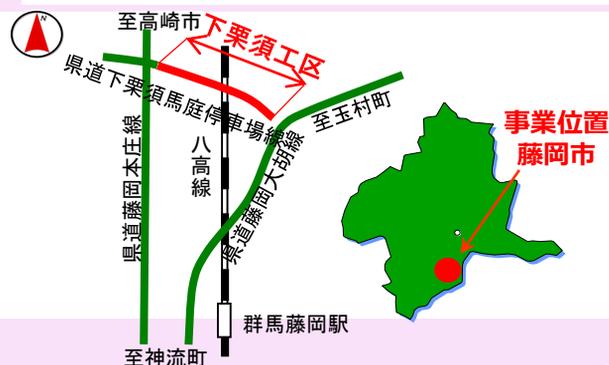
◆道路の幅を広げ、大型車のすれ違いを容易にすることで、円滑な通行空間を確保しました。



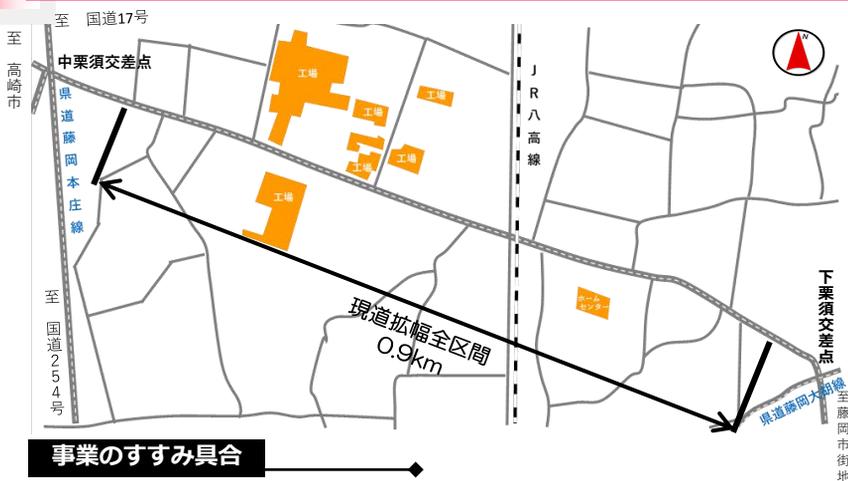
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：藤岡市下栗須～中栗須
- 事業内容：現道拡幅 延長0.9km 道路幅9.75m
- 事業期間：平成25年度～令和5年度



事業の進捗状況（令和5年度完了）



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和5年度に残区間の改良工事を実施し、事業が完了しました。





どのような未来を目指すための事業か

都市間や地域間交流を促進するため

バイパス道路をつくりました

地元の声

- ・道路が狭く、見通しが悪いため、走りづらい (地元住民)
- ・普通車同士でもすれ違いができず、危ないので早く道路を完成してほしい (地元住民)

事業前

◆道路が狭く普通車でもすれ違いが困難な状況となっていました。



事業前の状況

事業後

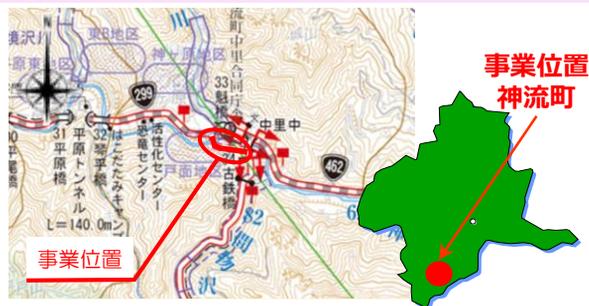
◆バイパス道路をつくり、すれ違いが可能となることで、安全で快適な通行空間が確保されました。



事業後の状況

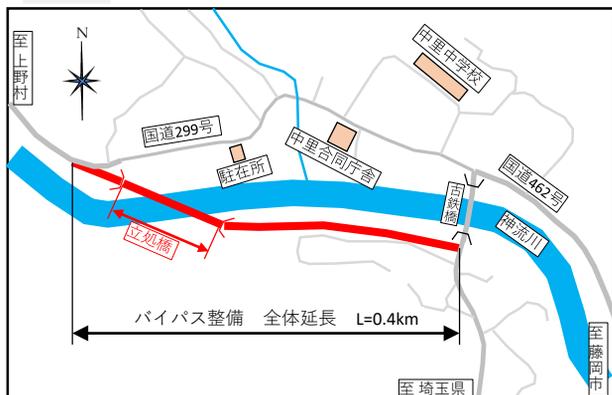
事業の概要

- 事業箇所：神流町神ヶ原
- 事業内容：バイパス整備 延長0.4km 道路幅 7.0m
- 事業期間：平成28年度～令和5年度



事業位置
神流町

事業の進捗状況 (令和5年度完了)



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和5年度に舗装工事を実施し、事業が完了しました。



整備後の状況 (R6.3時点)

県道寺尾藤岡線 (山名工区) バイパス整備事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

都市間や地域間交流を促進するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・朝夕に交通渋滞が発生するため、地域間の移動時間を短縮してほしい。(地元住民)
- ・道路の幅が狭いため大型車も走行するため、歩行者、自転車の通行が非常に危険な状況である。(地元住民)

事業前

◆朝夕の通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しており、移動に時間がかかっています。



事業前の状況

事業後

- ◆バイパス道路をつくることで、移動時間が短縮され、また周辺道路の渋滞が緩和されます。
- ◆両側に歩道が整備され、安全な通行空間を確保します。



事業後のイメージ (部分供用部分)

事業の概要

- 事業箇所：高崎市根小屋町～藤岡市篠塚
- 事業内容：バイパス整備 延長 2.4km 道路幅14.5m
- 事業期間：平成23年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)

バイパス整備 計画延長 約2.4 km



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度も引き続き函渠工、道路改良工事を推進し、舗装工事を実施します。



令和6年度の工事予定箇所



どのような未来を目指すための事業か

都市間や地域間交流を促進するため

道路を拡幅します

地元の声

- ・道路の幅員が狭く、車両がすれ違うときに危険を感じる。（地元住民）
- ・国道が災害で通行止めになってしまったときに迂回する道路がないと心配。（地元住民）
- ・地域間交流促進のため、下仁田～上野村の地域間の連携を強化してほしい。（地元住民）

事業前

◆道路の幅が狭く、大型車のすれ違いが困難なため、円滑な通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

◆道路の幅を広げ、大型車のすれ違いを容易にすることで、円滑な通行空間を確保します。



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：上野村檜原
- 事業内容：現道拡幅 延長 330m
道路幅 6.5m
- 事業期間：平成28年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は道路改良工事を推進します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

県道上目野藤岡線（黒石工区） バイパス整備事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

都市間や地域間交流を促進するため

バイパス道路 をつくります

地元の声

- ・この区間は災害で寸断される恐れがあるので、早く整備してほしい。（地元住民）
- ・この区間は急なカーブが多く車の運転が危険なので、バイパス整備に期待します。（地元住民）
- ・地域間交流促進のため、藤岡市東西の地域間の連携を強化してほしい。（地元住民）

事業前

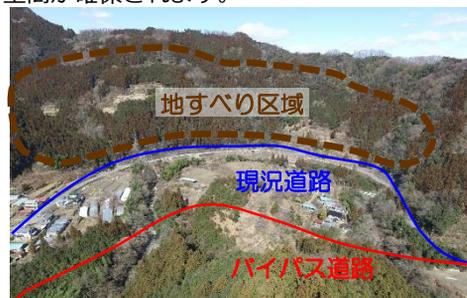
◆現道沿線は、地すべり区域が存在しているため、落石や斜面崩壊などの災害発生により道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆バイパス道路をつくることにより地すべり区域を回避し、道路の寸断を未然に防止します。また、道路線形もよくなり、安全な通行空間が確保されます。



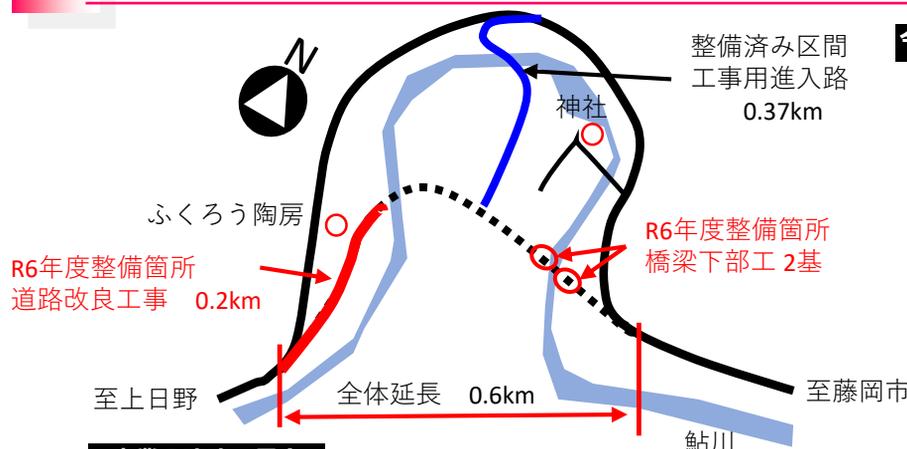
事業後のイメージ

事業の概要

- 事業箇所：藤岡市下日野
- 事業内容：バイパス整備 延長0.6km 道路幅7.0m
- 事業期間：平成27年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は橋梁下部工と道路改良工事を実施します。



事業のすすみ具合





どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備しました

地元の声

- ・通学路であり、既存の歩道が狭いので、安心して歩ける歩道がほしい。（学校関係者）
- ・歩道が狭く、すれ違いが困難なので、道路を拡幅してもらいたい。（地元住民）

事業前

◆歩道が無く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故の恐れがありました。



事業前の状況

事業後

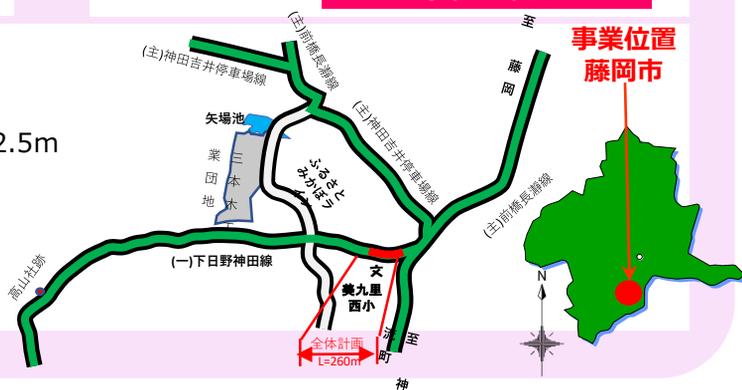
◆歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



事業後の状況

事業の概要

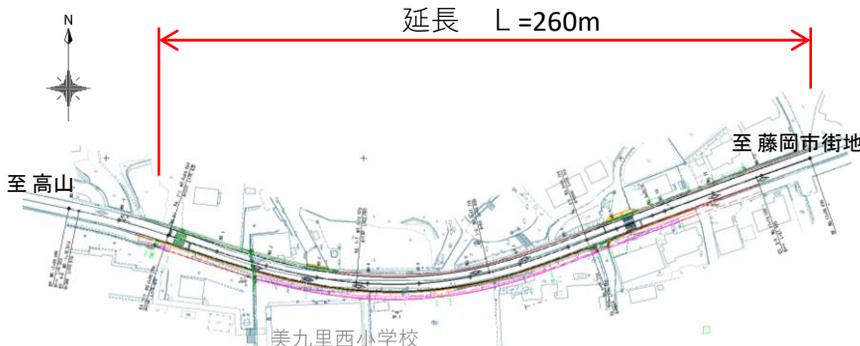
- 事業箇所：藤岡市神田
- 事業内容：歩道整備 延長 260m 歩道幅 2.5m
- 事業期間：平成28年度～令和2年度



事業の進捗状況（令和2年度完了）

今、何をしているか

令和2年度に歩道整備が完了し、歩行者や自転車の安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備しました

地元の声

- ・歩道が民地などの出入箇所で斜めになったり、段差があつたりと歩きづらい(地元住民)
- ・通学路なので、こどもが安全に歩けるように歩道をつくってもらいたい(学校関係者)

事業前

- ◆歩道に段差や傾斜があるため、歩行者が安全に通行できない状態でした。



事業後

- ◆歩道の段差を解消し、歩道幅を拡げることで、歩行者や自転車が安全に通行できるようになりました。



事業の概要

- 事業箇所：藤岡市本郷
- 事業内容：歩道整備 延長 1,190m
歩道幅 1.5m
- 事業期間：平成26年度～令和3年度



事業の進捗状況 (令和3年度完了)

本郷北交差点 延長 1.19km 七丁目交差点



今、何をしているか

令和3年度に歩道整備が完了し、歩行者や自転車の安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

県道上目野藤岡線（上目野工区） 歩道整備事業

事業完了

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備しました

地元の声

- ・この路線は大型車の通行が多く、歩くのが不安でした。早く橋に歩道を。（地元住民）
- ・道幅が狭く歩道が無いので、運転に気を遣います。歩道が出来ると安心。（道路利用者）

事業前

◆橋梁（下鹿島橋）は幅が狭く歩道が無いので、歩行者の通行が危険な状況でした。



事業前の状況

事業後

◆新たに歩行者用の橋をつくることで、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



事業後の状況

事業の概要

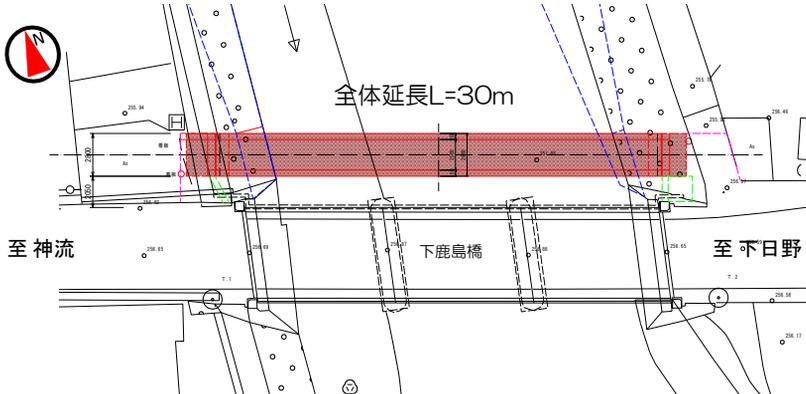
- 事業箇所：藤岡市上目野
- 事業内容：歩道整備 延長 30m（側道橋）
歩道幅 2.0m
- 事業期間：平成27年度～令和3年度



事業の進捗状況（令和3年度完了）

今、何をしているか

令和3年度に歩道整備が完了し、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備しました

地元の声

- ・歩道がなく、大型車の通りが多いため、とても危険です。(地元住民)
- ・高校生が市街地方面へ通学しているが、歩道がないので危険。(地元住民)

事業前

◆大型車の交通量が多く、歩道が未整備のため、交通事故の恐れがありました。



事業前の状況

事業後

◆歩道が整備されることで、歩行者や自転車の安全な通行空間が確保されました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：藤岡市浄法寺
- 事業内容：歩道整備 延長 280m
歩道幅 2.5m
- 事業期間：平成26年度～令和5年度



事業の進捗状況 (令和5年度完了)



今、何をしているか

令和5年度に歩道整備やカラー舗装を行い、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁をつくります

地元の声

・ 人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。(地元住民)

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 擁壁をつくることにより落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ(一例)

事業の概要

- 事業箇所：上野村乙母
- 事業内容：擁壁工 延長77.1m
- 事業期間：令和3年度～



事業の進捗状況(令和6年3月末現在)

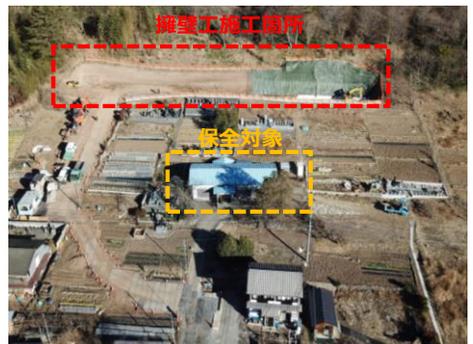


事業のすすみ具合



今、何をしているか

令和6年度は擁壁工事を実施します。





どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

法枠と擁壁を
つくります

地元の声

・ 人家や避難所を守るために早急に対策をしてほしい（地元住民）

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 擁壁をつくることにより落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ（一例）

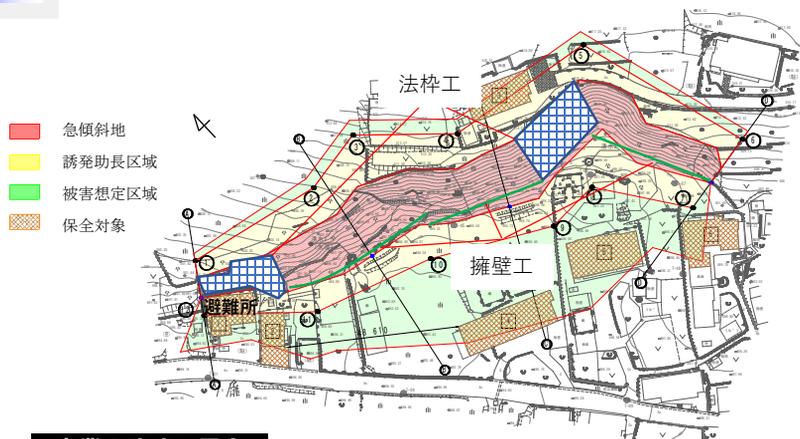
事業の概要

- 事業箇所：上野村新羽
- 事業内容：法枠工、擁壁工 延長107m
- 事業期間：令和3年度～

※法枠（のりわく）とは、コンクリートなどで格子状の枠を設けて、斜面の風化、浸食、崩落などを防止するものです。



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は用地交渉を実施します。



事業のすすみ具合





どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵を
つくりました

地元の声

- ・ 人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。（地元住民）

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがありました。



事業後

- ◆ 防護柵をつくることにより落石や崩壊した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減しました。



事業の概要

- 事業箇所：上野村勝山
- 事業内容：防護柵工 延長75m
- 事業期間：令和3年度～令和4年度



事業の進捗状況（令和4年度完了）



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和4年度に本事業は完了しました。





どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵を
つくります

地元の声

・ 人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。（地元住民）

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

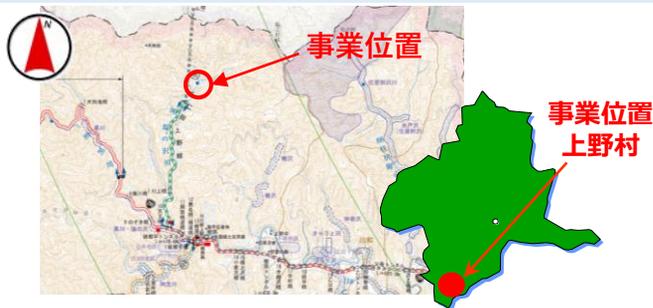
◆ 防護柵をつくることにより落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：上野村大字榎原
- 事業内容：防護柵工 延長63m
- 事業期間：令和3年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度も対策工事を進めていきます。





どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵と法枠をつくります

地元の声

・ 人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい (地元住民)

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 防護柵をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：上野村檜原
- 事業内容：防護柵工 延長92m・法枠工
- 事業期間：令和3年度～

※法枠 (のりわく) とは、コンクリートなどで格子状の枠を設けて、斜面の風化、浸食、崩落などを防止するものです。



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



事業のすすみ具合

事業開始 ●



● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度も、引き続き斜面对策工事を実施します。





どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

渓流を保全する水路をつくります

地元の声

・大雨のとき、土砂が流れ出てくる可能性があるので、とても不安である。(地元住民)

事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流が発生する恐れがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 渓流保全工により、大雨などによる土石流の被害のリスクを軽減します。



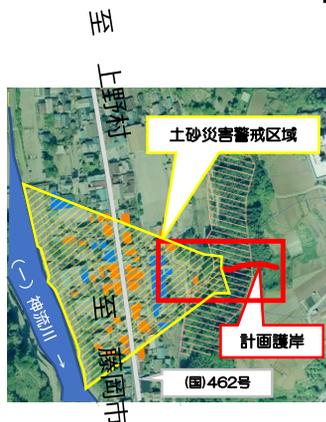
事業後のイメージ(一例)

事業の概要

- 事業箇所：神流町万場
- 事業内容：渓流保全工
- 事業期間：令和4年度～



事業の進捗状況(令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は、対策工事を進めていきます。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります

地元の声

・大雨のとき、土砂が流れ出てくる可能性があるので、とても不安である。（地元住民）

事業前

◆溪流が荒廃しており、大雨などにより土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆砂防堰堤の整備により、大雨などによる土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：上野村乙父
- 事業内容：砂防堰堤 1基
- 事業期間：令和4年度～



事業位置
上野村

事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は、用地交渉を行い、事業実施に必要な用地の買収を進めます。



堰堤計画位置

事業のすすみ具合

事業開始

事業完了



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・歩道がなく、大型車が多く通るため危険である。(地元住民)
- ・高校生が市街地方面へ通学しているが、歩道がないので危険である。(地元住民)

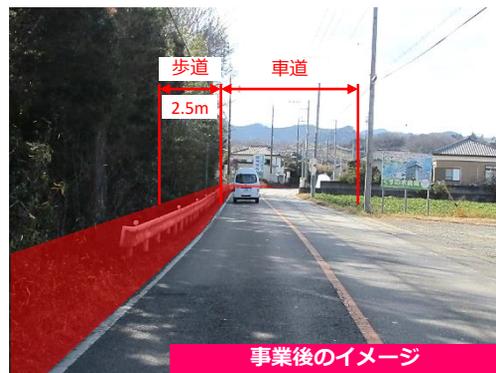
事業前

◆歩道が無く、交通事故の恐れがあります。



事業後

◆歩道を整備することで、歩行者や自転車の安全な通行空間が確保されます。



事業の概要

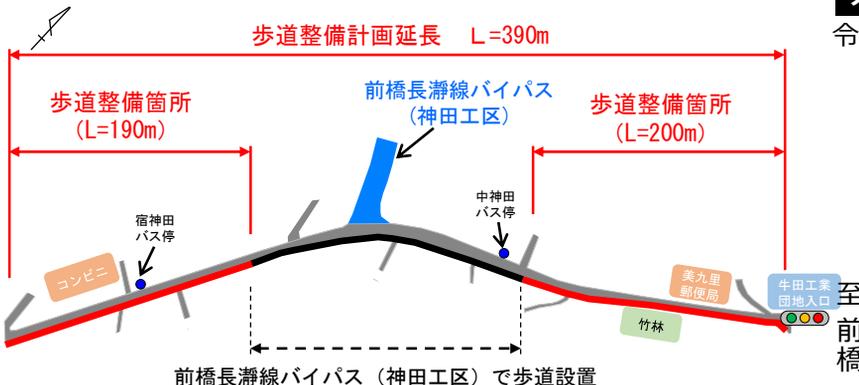
- 事業箇所：藤岡市神田
- 事業内容：歩道整備 延長 390m 歩道幅 2.5m
- 事業期間：令和4年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)

今、何をしているか

令和6年度は用地買収を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了